



# 情報セキュリティ市場は 再び成長軌道へ

～2012年度情報セキュリティ市場調査結果の要点～

セキュリティ市場調査WG

勝見 勉

&WGの仲間たち

2013年 6 月7日

JNSA2012年度活動報告会

# 2012年度の調査の概要



## JNSA独自・自主事業

(2009年度までMETI委託事業)

目的:

- マーケットと産業の姿を示す
- 同じ統計ベースのデータを継続提供する
- 特に会員企業の事業参考用

報告書本文はこちらから  
[http://www.jnsa.org/  
result/2013/surv\\_mrk/](http://www.jnsa.org/result/2013/surv_mrk/)

調査概要:

- 調査活動期間: 2012年6月～2013年5月
- 調査方法: アンケート調査 各種統計・調査資料の参照  
企業の事業概要・規模推定(対象数:約380社)  
主要企業個別ヒアリング(実施数:15社。ご協力に感謝。)
- アンケート調査: 2012年9月 会員企業限定 eメールベース  
回収数: 25/147件 回収率17% (前回:34/160, 21%)
- 調査対象期間: 2010, 2011年度実績 2012年度見込み 2013年度予測

# 市場区分の定義



2012年度は検討の結果、市場区分の見直しはなかった。

セキュリティツール	統合型アプライアンス	FW、IDS、ウイルス対策等複数機能を持ったアプライアンス
	ネットワーク脅威対策製品	FW、IDS/IPS、VPN、アプリケーションファイアウォール
	コンテンツセキュリティ対策製品	ウイルス対策、スパム対策、URLフィルタ、メールフィルタ、DLP等
	アイデンティティ・アクセス管理製品	認証、ログオン管理・アクセス許可、PKI製品
	システムセキュリティ管理製品	セキュリティ情報統合管理、ポリシー・アクティビティ管理ツール、脆弱性検査ツール 等
	暗号製品	暗号化製品、暗号モジュール
セキュリティサービス	情報セキュリティコンサルテーション	ポリシー構築、監査・診断等セキュリティ管理全般コンサルティング、規格認証取得支援サービス
	セキュアシステム構築サービス	ITセキュリティの設計、導入、製品選定支援 等
	セキュリティ運用・管理サービス	マネージドサービス(ITセキュリティの監視、運用支援)、プロフェッショナルサービス、電子認証サービス 等
	情報セキュリティ教育	教育実施、コンテンツ提供、教育ASP、資格認定 等
	情報セキュリティ保険	情報セキュリティおよびITセキュリティ保険

# 国内情報セキュリティ市場規模の概観



金額単位:百万円

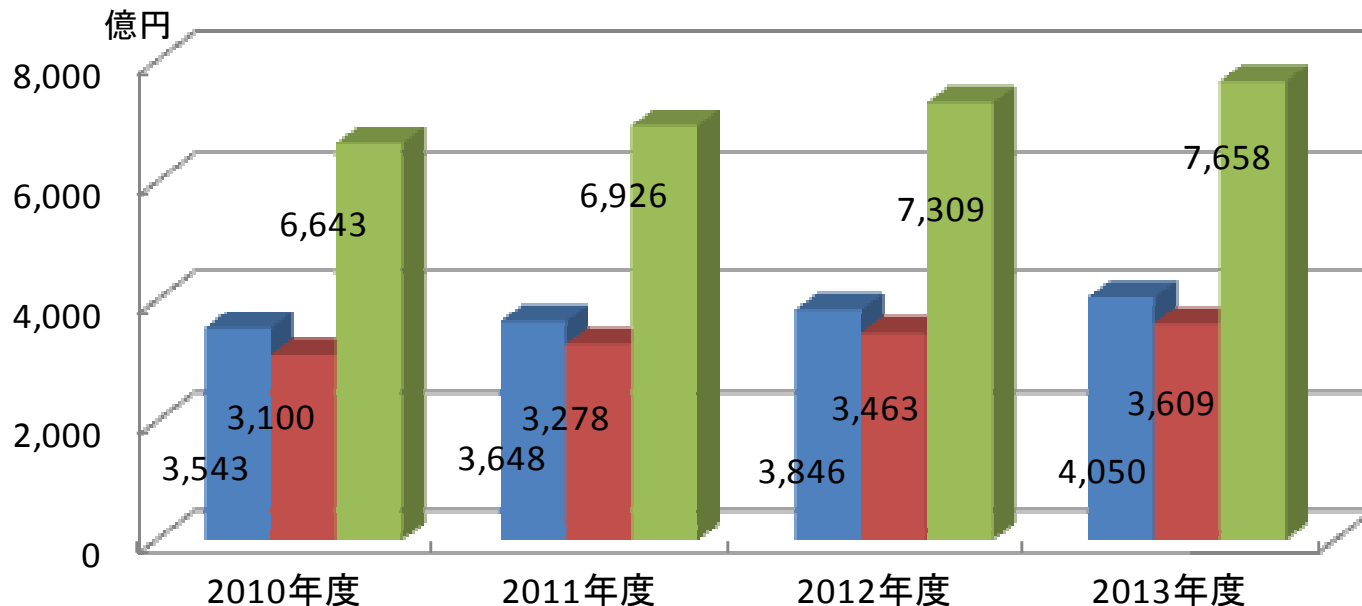
年度別売上高推計値 セキュリティ・ツール	2010年度		2011年度			2012年度			2013年度		
	売上実績推定値		売上実績推定値			売上高見込推定値			売上高予測値		
	金額	構成比	金額	構成比	成長率	金額	構成比	成長率	金額	構成比	成長率
統合型アプライアンス	18,972	5.4%	19,208	5.3%	1.2%	20,107	5.2%	4.7%	21,146	5.2%	5.2%
ネットワーク脅威対策製品	48,535	13.7%	49,799	13.7%	2.6%	52,050	13.5%	4.5%	54,058	13.3%	3.9%
コンテンツセキュリティ対策製品	136,556	38.5%	138,995	38.1%	1.8%	146,756	38.2%	5.6%	154,506	38.2%	5.3%
アイデンティティ・アクセス管理製品	63,393	17.9%	65,392	17.9%	3.2%	68,857	17.9%	5.3%	71,801	17.7%	4.3%
システムセキュリティ管理製品	49,507	14.0%	51,679	14.2%	4.4%	55,102	14.3%	6.6%	58,864	14.5%	6.8%
暗号化製品	37,307	10.5%	39,734	10.9%	6.5%	41,694	10.8%	4.9%	44,579	11.0%	6.9%
セキュリティツール市場合計	354,272	100.0%	364,807	100.0%	3.0%	384,566	100.0%	5.4%	404,954	100.0%	5.3%
年度別売上高推計値 セキュリティ・サービス	2010年度		2011年度			2012年度			2013年度		
	売上実績推定値		売上実績推定値			売上高見込推定値			売上高予測値		
	金額	構成比	金額	構成比	成長率	金額	構成比	成長率	金額	構成比	成長率
情報セキュリティコンサルティング	66,271	21.4%	67,928	20.7%	2.5%	70,150	20.3%	3.3%	72,181	20.0%	2.9%
セキュアシステム構築サービス	122,229	39.4%	129,116	39.4%	5.6%	138,821	40.1%	7.5%	144,389	40.0%	4.0%
セキュリティ運用・管理サービス	90,375	29.2%	98,071	29.9%	8.5%	103,092	29.8%	5.1%	109,163	30.3%	5.9%
情報セキュリティ教育	23,880	7.7%	25,185	7.7%	5.5%	26,601	7.7%	5.6%	27,332	7.6%	2.7%
情報セキュリティ保険	7,236	2.3%	7,497	2.3%	3.6%	7,647	2.2%	2.0%	7,800	2.2%	2.0%
セキュリティサービス市場合計	309,992	100.0%	327,797	100.0%	5.7%	346,310	100.0%	5.6%	360,864	100.0%	4.2%
セキュリティツール+サービス	664,264	100.0%	692,604	100.0%	4.3%	730,876	100.0%	5.5%	765,818	100.0%	4.8%

- ✓国内情報セキュリティ市場は約6600億円規模から7600億円規模へ(2008年のピーク7200億円を超える?)
- ✓うち、ツールは3500億円規模から4000億円へ。(2008年のピーク3700億円を上回る)
- ✓サービスは3100億円規模から3600億円へ。(2008年のピーク3500億円を超える?) 再構築需要が背景に。
- ✓調査対象4年間の年平均成長率は、  
セキュリティ市場合計:4.9% ツール市場:4.6% サービス市場:5.2%

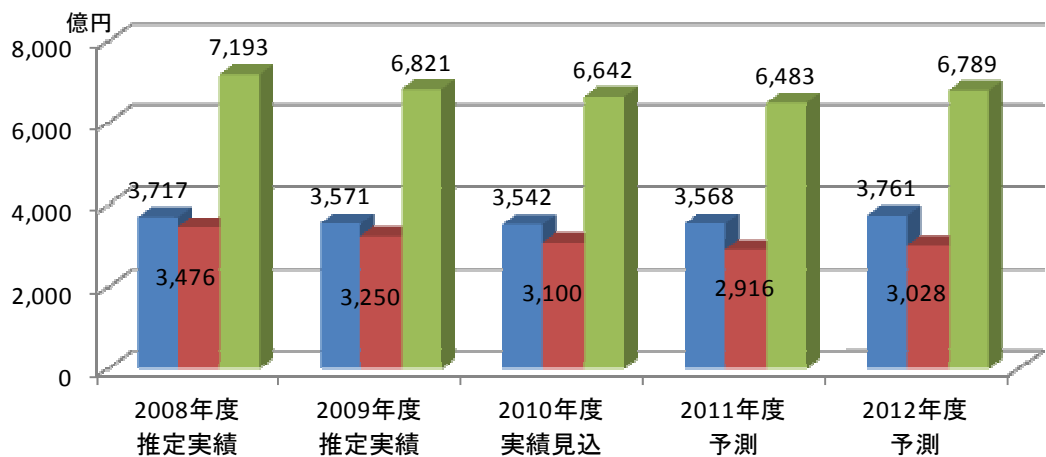
# 国内情報セキュリティ市場規模の推移



今回調査  
結果→



前回調査  
結果↓

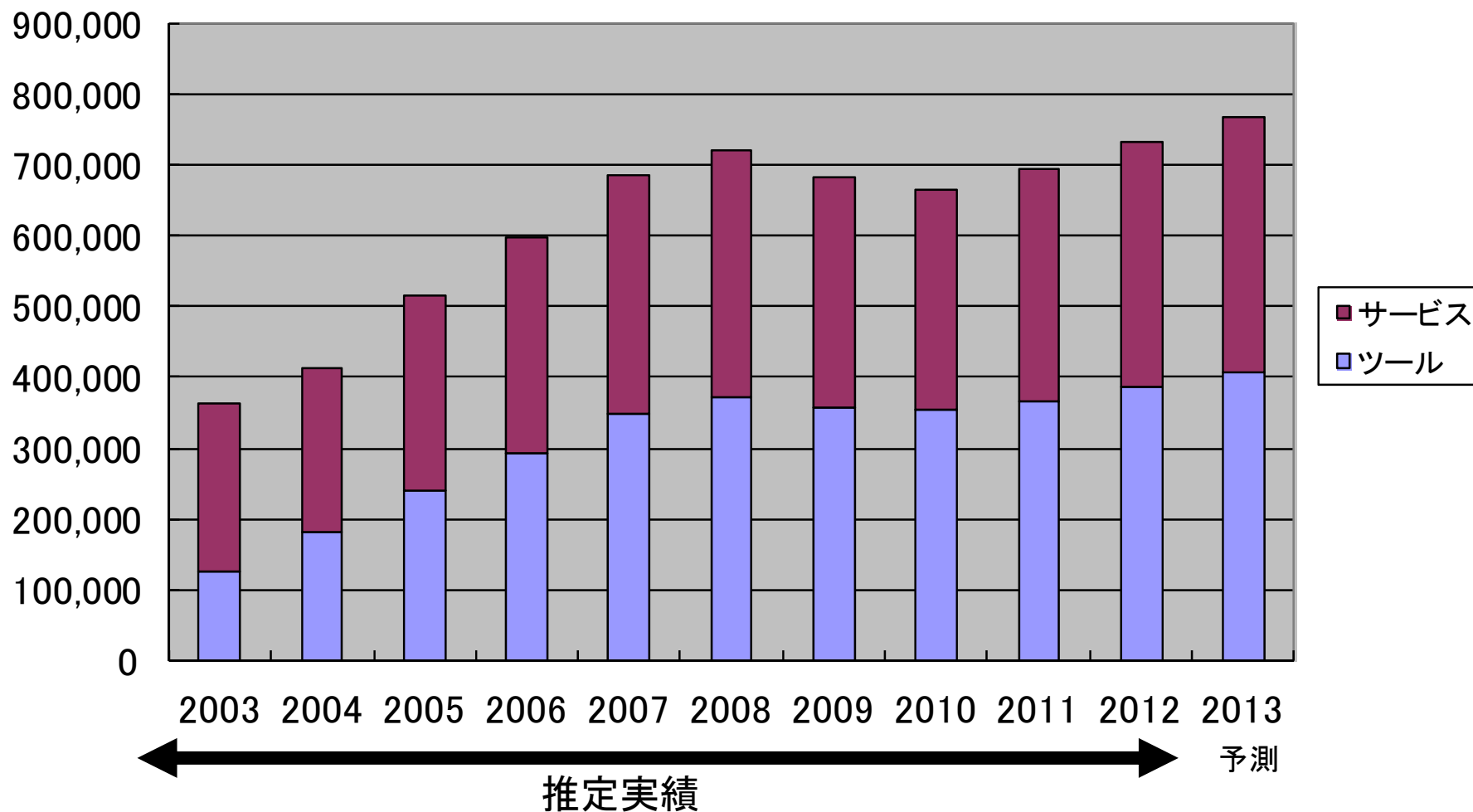


サービス市場 ■ 情報セキュリティ市場 計

■ 情報セキュリティツール市場 ■ 情報セキュリティサービス市場 ■ 情報セキュリティ市場 計

単位:百万円

## 日本のセキュリティ市場(全体規模)

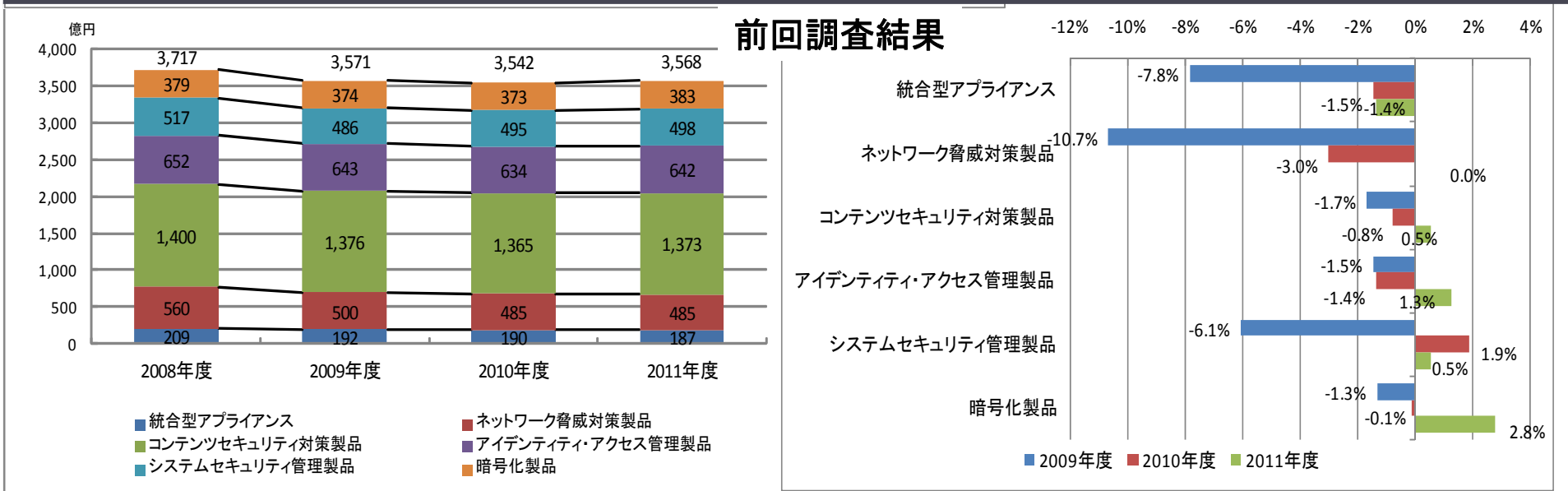
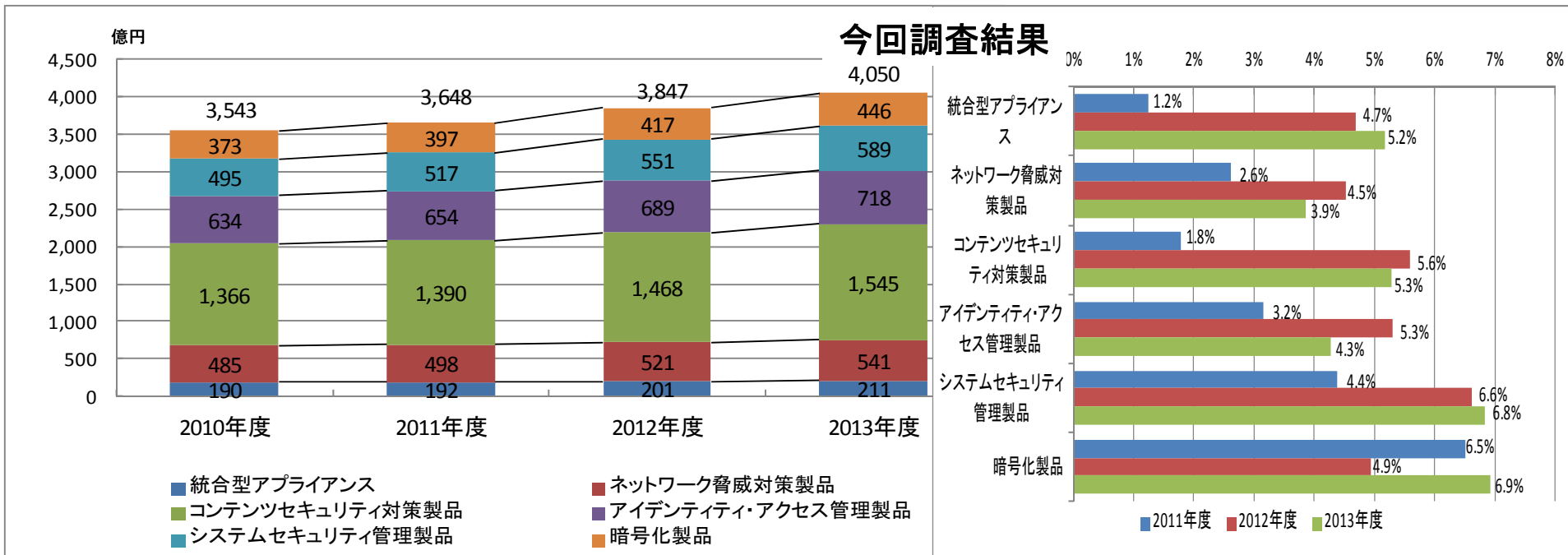


# 情報セキュリティの供給サイドの構造分析

国内情報セキュリティ市場 推計対象企業数と分布	対象企業業態区分								
	合計	海外ベンダ /日本法人	国内ベンダ	流通・販売 業者	SI/NI機能 ありの二 次・三次販 売業者	大手シス テムインテ グレータ	コンサル会 社	サービス 提供事業 者	その他
調査推計対象(含: アンケート回答25件)	370	50	74	41	82	26	15	65	17
有効推計対象	358	48	71	39	81	26	15	64	14
情報セキュリティツール全体 (X)	263	48	64	38	65	20	3	19	6
統合型アプライアンス	68	7	6	14	21	13	2	4	1
ネットワーク脅威対策製品	132	23	16	20	40	18	2	11	2
コンテンツセキュリティ対策製品	161	19	38	30	44	16	2	10	2
アイデンティティ・アクセス管理製品	136	13	24	22	51	16	3	7	0
システムセキュリティ管理製品	130	23	22	22	33	16	2	11	1
暗号製品	86	11	14	16	27	12	2	2	2
情報セキュリティサービス全体 (Y)	247	11	35	18	73	25	15	60	10
情報セキュリティコンサルテーション	147	5	9	7	44	21	13	46	2
セキュアシステム構築サービス	131	6	13	8	57	23	5	19	0
セキュリティ運用・管理サービス	157	9	24	13	49	20	7	20	5
情報セキュリティ教育	80	5	3	5	19	12	4	29	3
情報セキュリティ保険	13	0	0	1	2	2	2	2	4
(参考)									
ツール専業 (X∩Y)	111	37	36	21	8	1	0	4	4
ツール・サービス兼業 (X∩Y)	152	11	28	17	57	19	3	15	2
サービス専業 (Y-X)	95	0	7	1	16	6	12	45	8
生データベースの売上高分布	100.0%	14.7%	4.5%	3.8%	18.7%	50.2%	2.4%	4.1%	1.5%

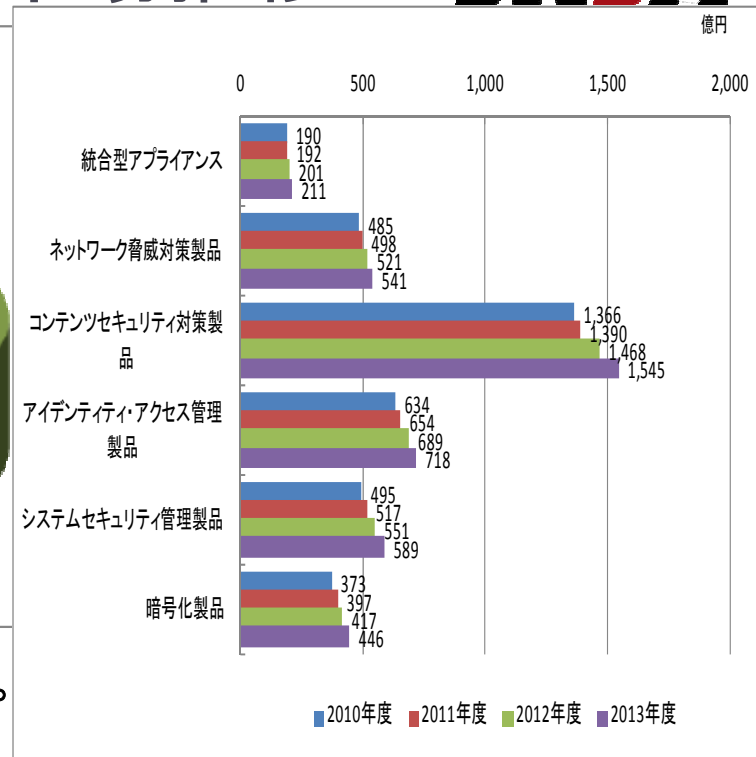
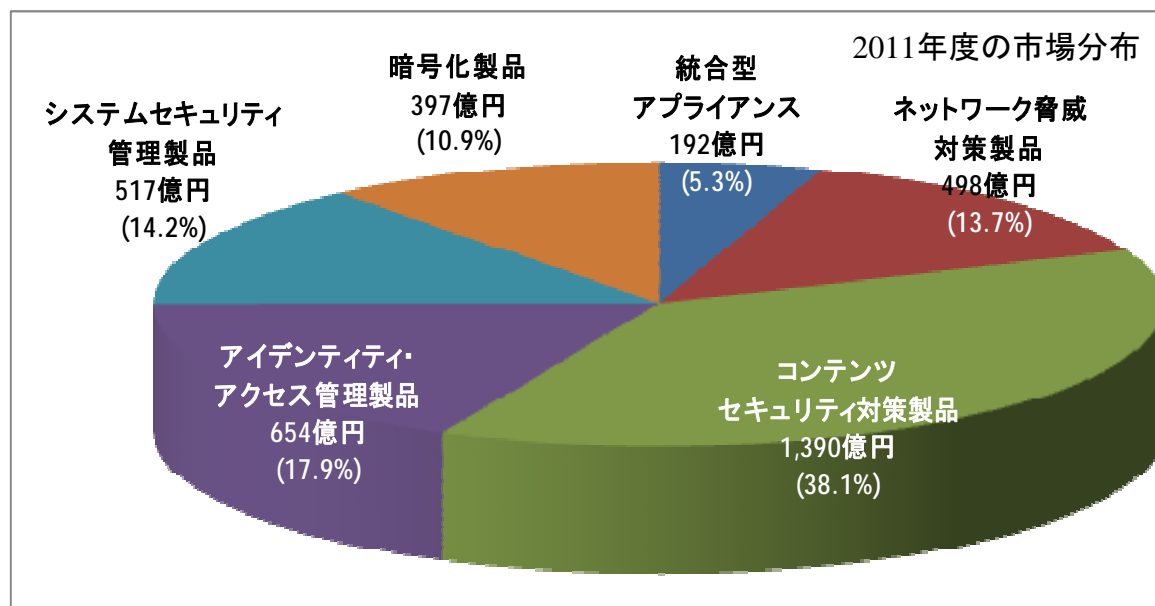
- セキュリティツールの供給・流通の主体は海外ベンダ、国内ベンダ、SI・NI機能を有する二次・三次販売業者、大手SIer。国内ベンダの数が急速に増加している。
- セキュリティサービスの供給主体はセキュリティサービス提供事業者、SI・NI機能を有する二次・三次販売業者、国内ベンダ、大手SIer。
- 日本市場ではシステムインテグレータ(D,E区分)の果たす役割が大きい。

# 国内情報セキュリティツール市場推移



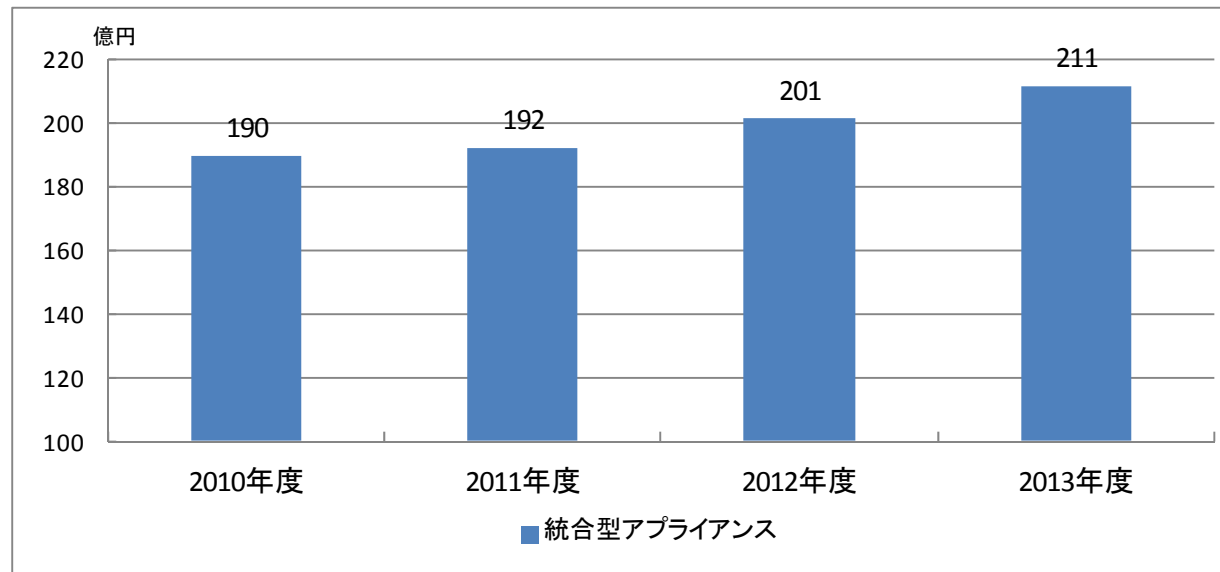


# 国内情報セキュリティツール市場推移



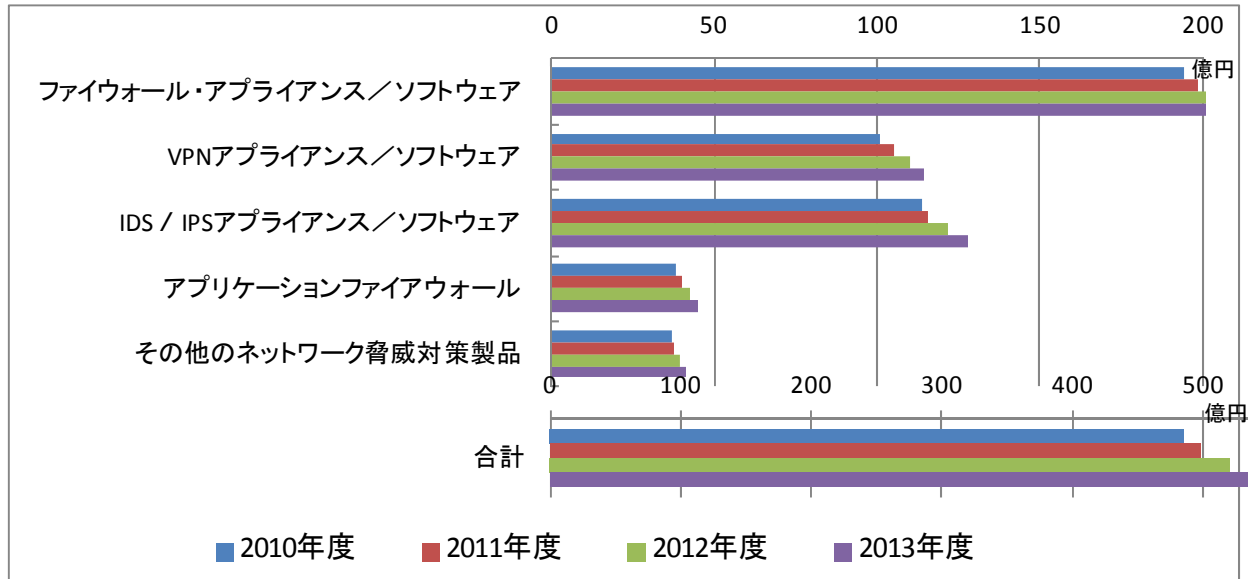
- 全体として2011年度は3650億円程度で3%の伸び。
- NW脅威対策、統合APLはやや回復。
- コンテンツセキュリティは市場が成熟している割には堅調に推移。個人向けが底堅く、モバイル関係やDLPが市場拡大期にあることが寄与していると思われる。
- IAM、システム管理はやや高い伸び。アクセス権や端末動作管理への関心高?
- 暗号は6.5%と高い伸び。大規模情報漏えい事件の影響か。
- 2012年度は、全体に市場が回復。システム管理の伸びは標的型脅威対策の多段防御需要の影響か。
- 2013年は景気・業績回復を背景に引続き堅調に伸び、5.3%増で4000億円に達すると予測した。

# 統合型アプライアンス



- 2011年度は1.2%と微増で192億円。(速報値では186億円)
- 2012年度(見込み)は+4.7%と伸びを回復して200億円台に復帰。
- 2013年度はさらに5.2%増で211億円と過去のピーク(2008:209)を更新と予想
- IT投資サイクルの前回ピークが2007年前後で、2011年ごろから次のサイクルにさしかかっていると考えられ、景気回復や脅威の増大に対応して需要が回復している。
- ネットワーク脅威関係は市場が成熟。投資サイクルが主たる変動要因となる。

# ネットワーク脅威対策製品

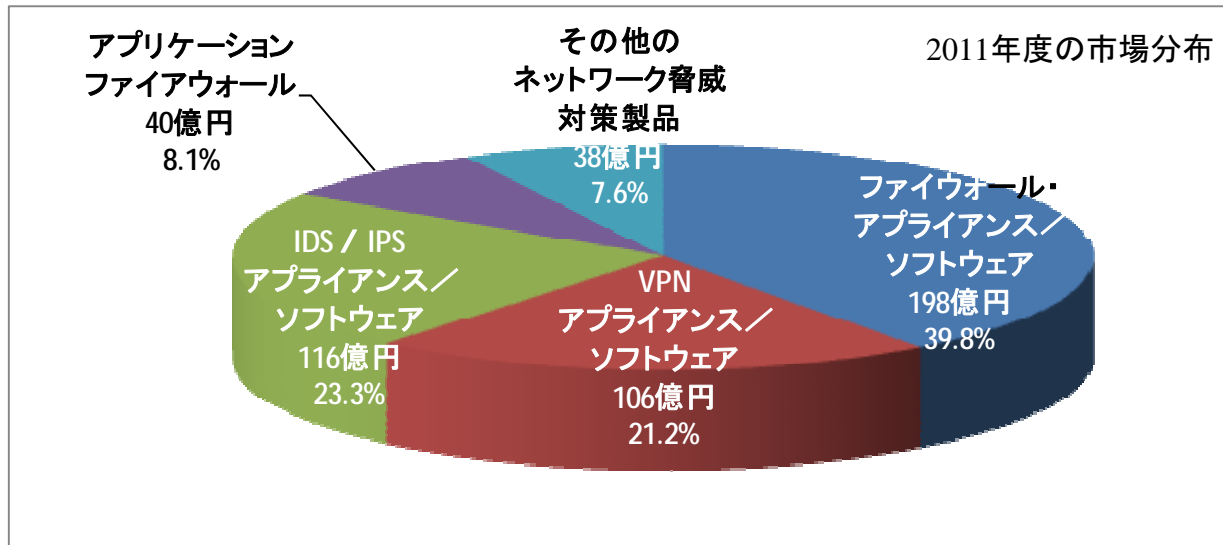


•2011年度のNW脅威対策製品全体としては統合型APLと同様若干拡大(+2.6%)で498億円。

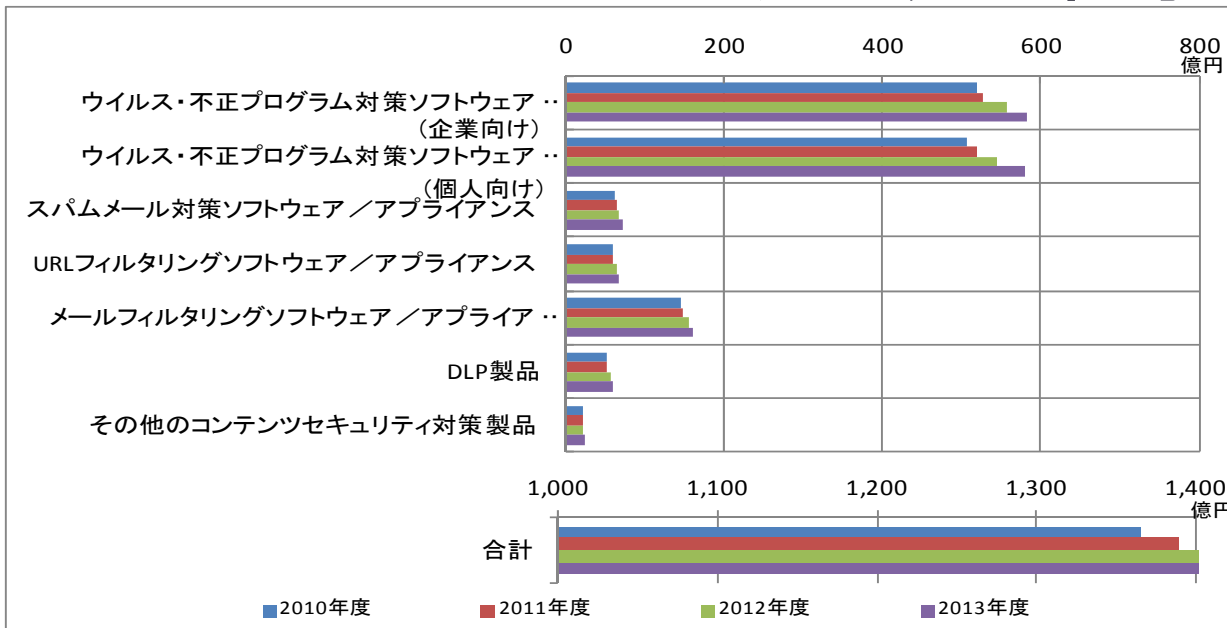
•VPNは2011年度、2012年度共+4.6%と好調。リモートアクセスの増加によると見られる。

•IDS/IPSは2011年度は+1.5%と微増だが2012年には+5.0%に回復、2013年は5.4%伸びる。標的型等外部脅威対策による。

•アプリケーションFWは2011年+5.5%、2012年+5.7%、2013年+6.1%と伸び続ける。外部脅威対策、PCI DSSが牽引。使い慣れも後押し？



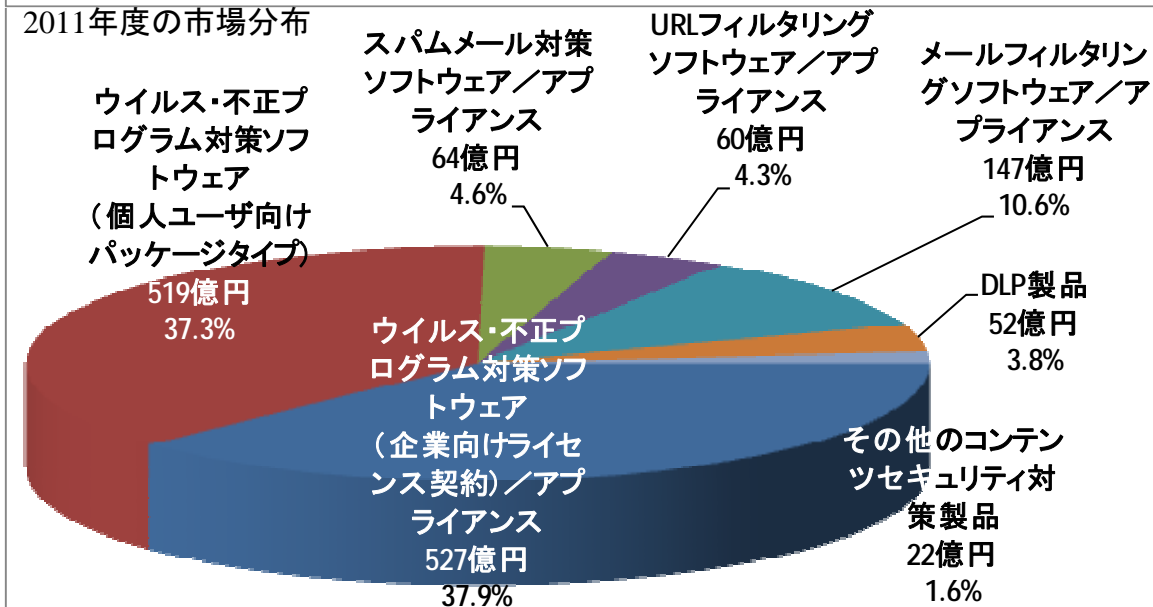
# コンテンツセキュリティ対策製品



•ウイルス対策ツールは個人向け519億円、法人向け527億円と規模で拮抗。

•個人向けはリテラシ向上とスマートデバイス普及に押され2011年度～+2.2%、+4.8%、+6.5%と順調に拡大。個人への脅威の実感が浸透した結果か。

•法人向けウイルス対策ソフトも対策の充実から堅調に拡大傾向。モバイル対策も寄与か。



•前回からDLPを独立させ、フィッシング対策はその他に統合。DLPは50億円規模となり、拡大の傾向を見せている。2013年度には60億円弱に？

•メール、URLフィルタリングは一部サービスへ移行も。

•全体として、2012,2013年度は高めの伸びが続きそう。

# アイデンティティ・アクセス管理製品

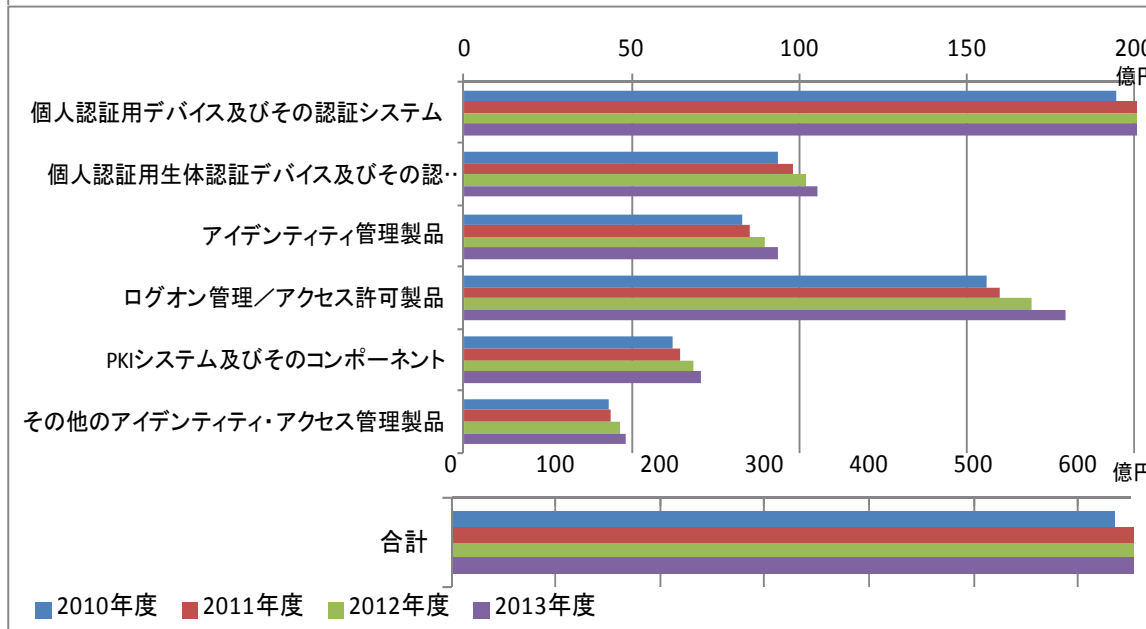
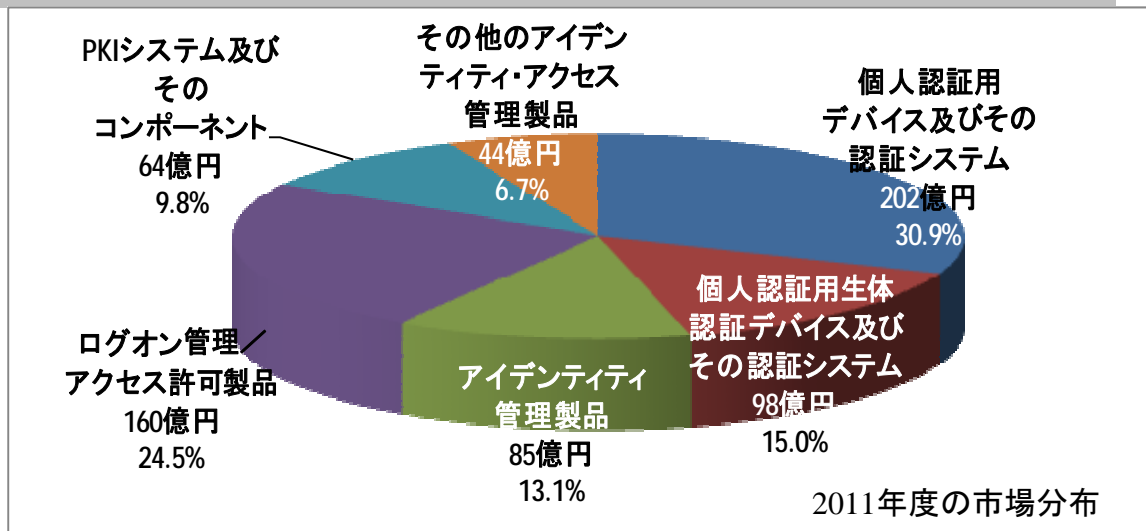


•認証・ID管理系は2011年度は+3.2%とやや高い伸びとなった。リモートアクセスやクラウド活用が背景にあるか？

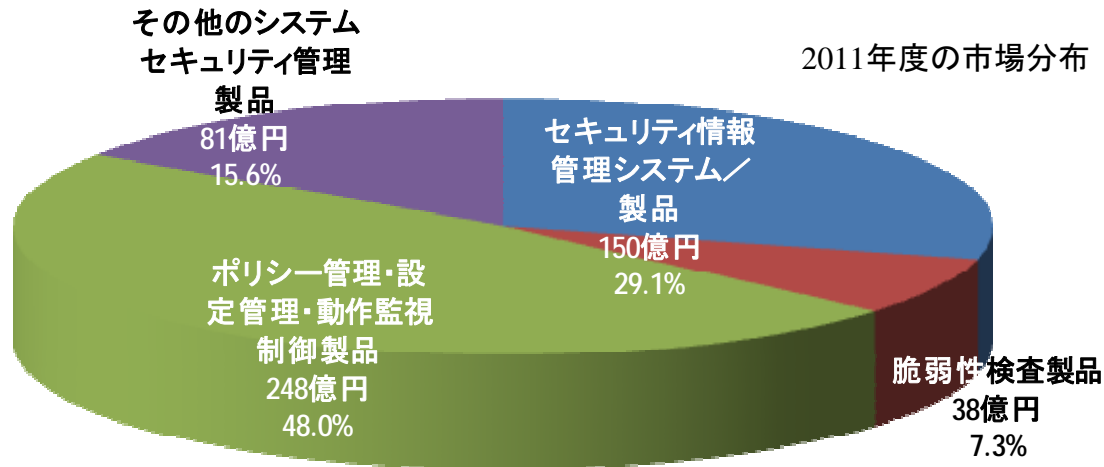
•生体認証は2011年以降+4.5%、+4.1%も+3.1%と堅調な伸び。精度向上と使い勝手の良さから需要は堅調に推移すると考えられる。

•ID管理、ログオン管理は2012,2013年度に高い伸びを見込む。情報漏えい対策としてアクセス管理が一層重要に。(標的型、内部不正、リモートアクセス、クラウド)

•PKIシステムも堅調な推移。番号制度も追い風になるか？



# システムセキュリティ管理製品

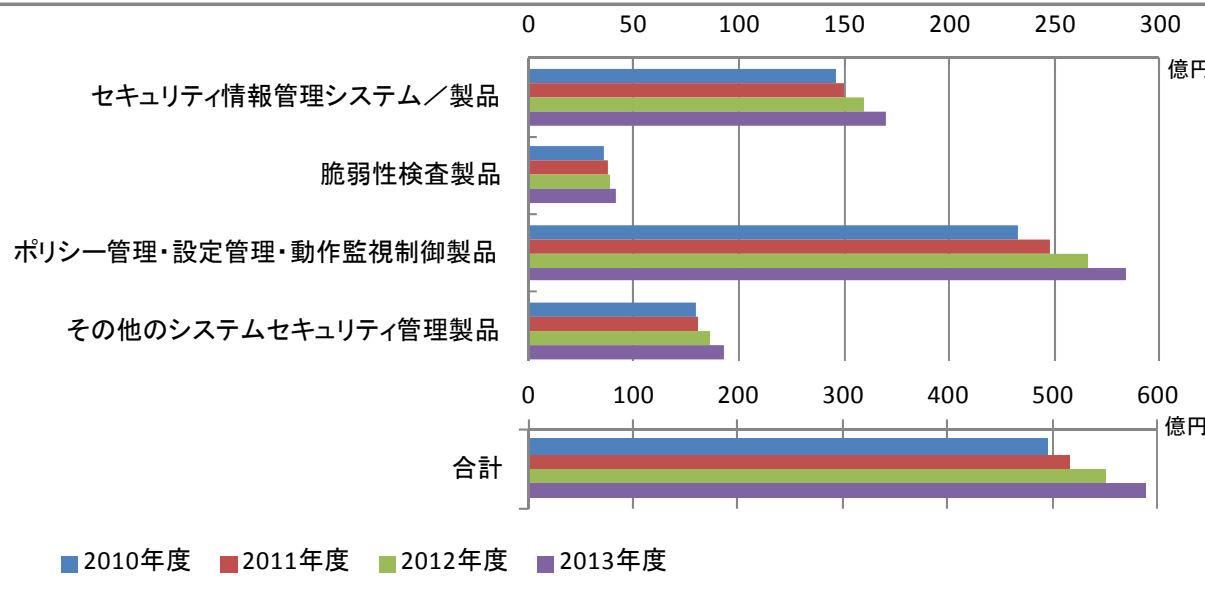


- 端末のポリシー順守の管理や動作の監視・制御用ツール、検疫NW製品を含む「ポリシー管理・設定管理・動作監視制御製品」が2011年度以降+6.5%、+7.1%、+6.9%と高い伸びを見せる。
- 2011年度の規模は248億円。

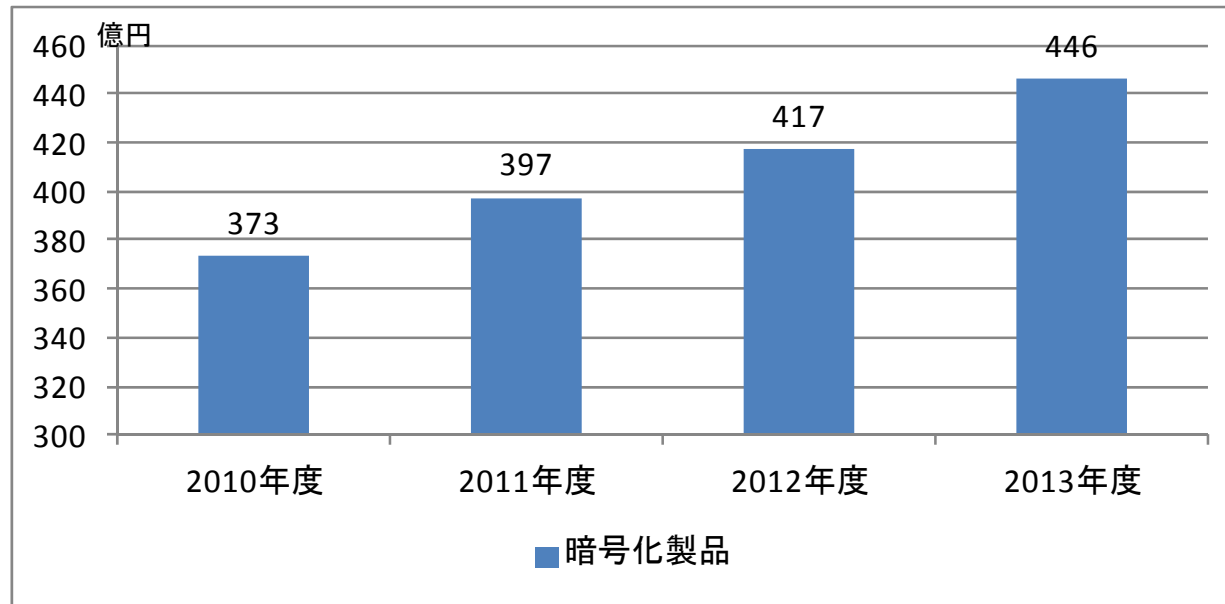
- SIM/SEM製品は標的型脅威対策の内部監視のために需要が拡大すると見られる。2011年度150億円で、+2.8%、+6.1%、+6.4%と拡大、170億円へ。

- 全体として500億円割れが続いたが、2011年には517億円に回復し、2008年のピークに並んだ。

- NW脅威とコンプライアンスの両面で採用拡大傾向は続く。
- ログ管理を含む「その他」も2012,2013年度は伸びる見込み。



# 暗号化製品



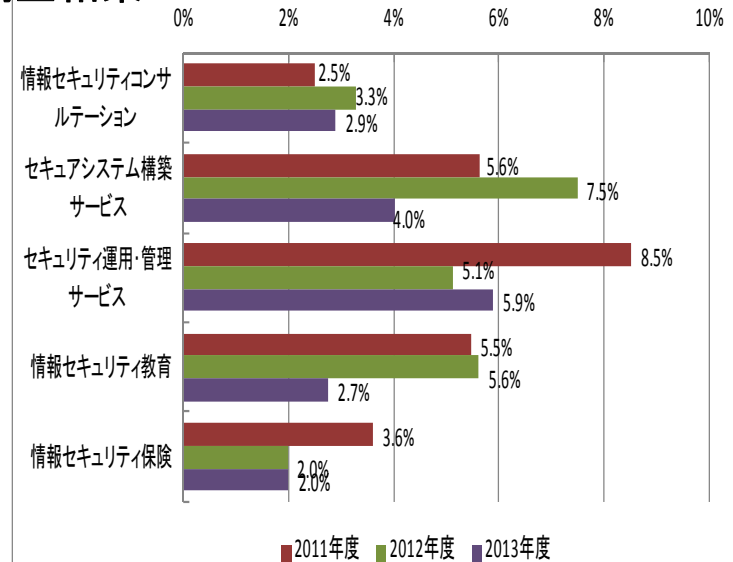
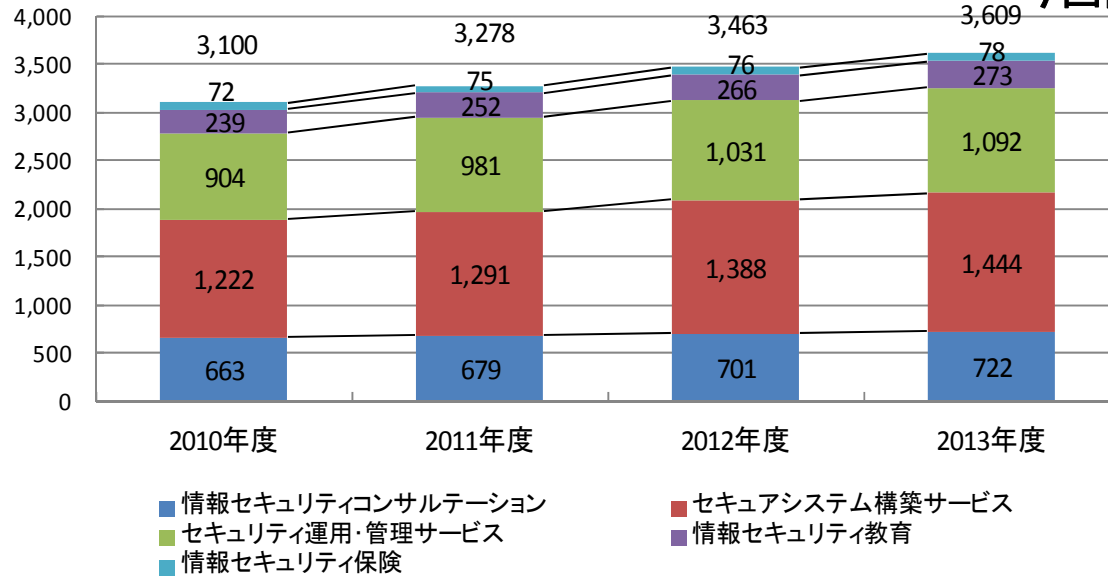
- 前回から、中分類レベルの市場区分をなくし、単一市場区分とした。
- ほとんどがデータ暗号化製品であるため。
- 2011年は+6.5%、2012年+4.9%、2013年+6.9%と、高い伸びを示すと見られる。2008-2011年の後退局面でも、最も縮小率が軽微だった。
- 情報漏えい対策、知的財産保護対策、そして標的型攻撃の出口対策としての暗号化利用が着実に浸透している結果と考えられる。
- クラウドの利用浸透も需要拡大要因と考えられる。

# 情報セキュリティサービス市場推移



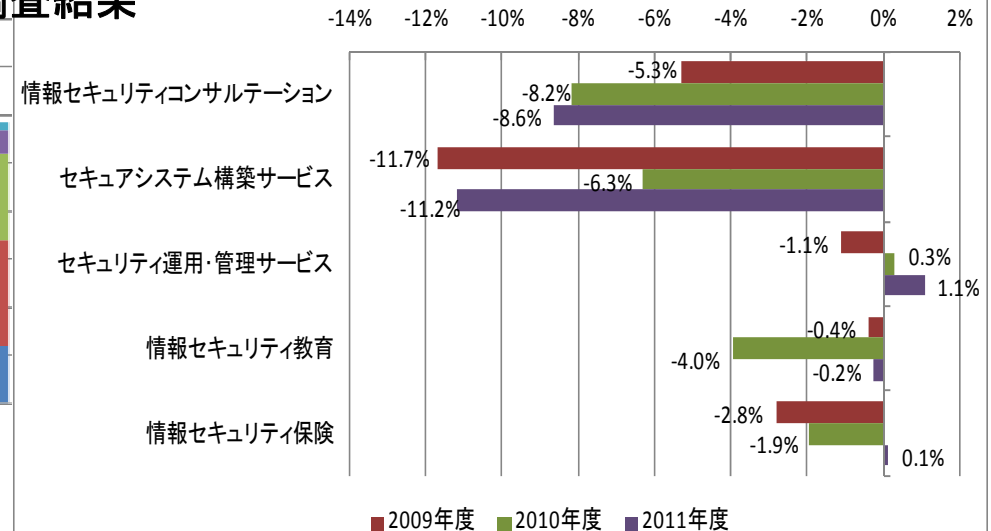
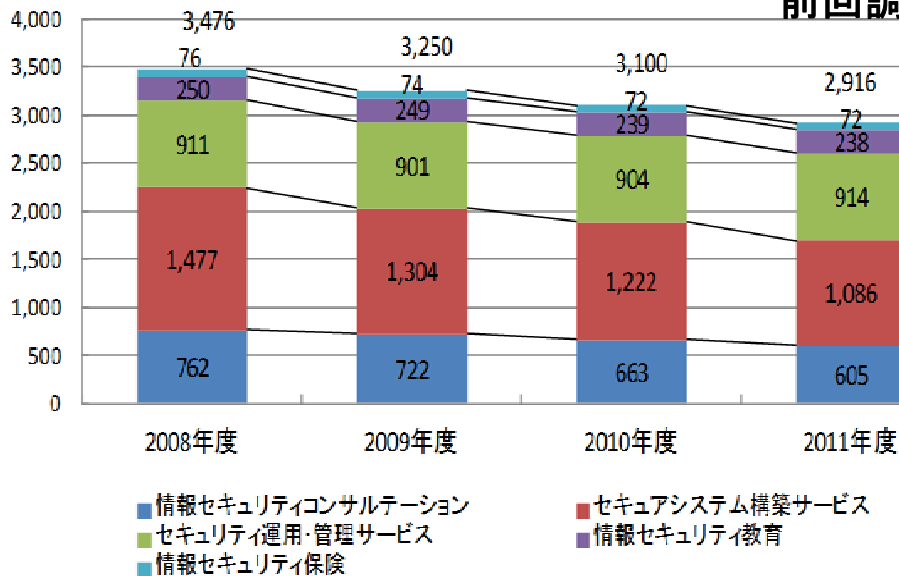
億円

## 今回調査結果



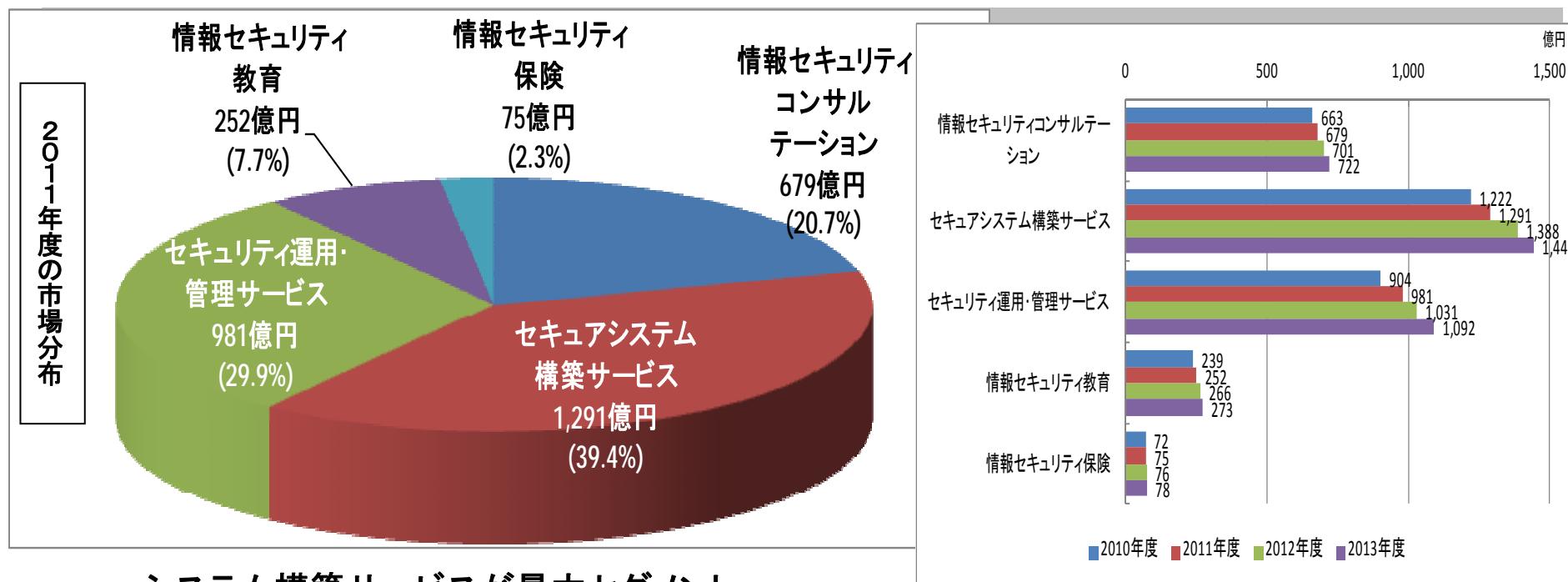
億円

## 前回調査結果



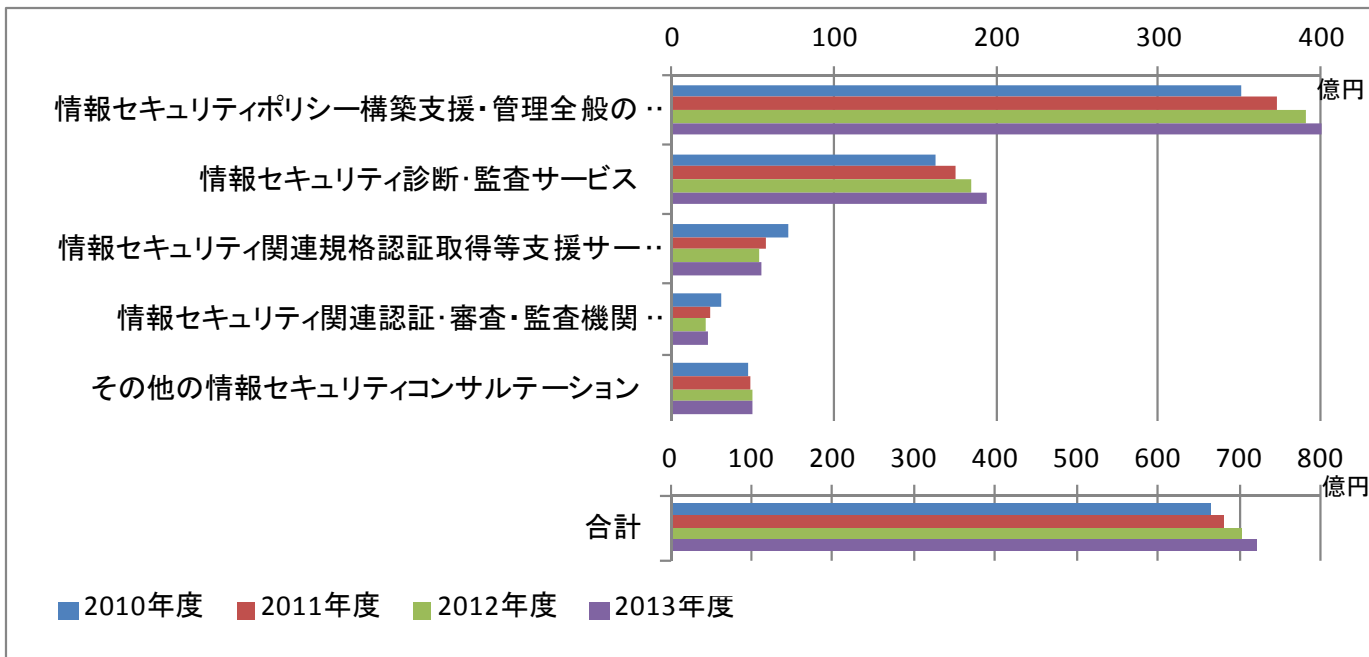


# 情報セキュリティサービス市場推移

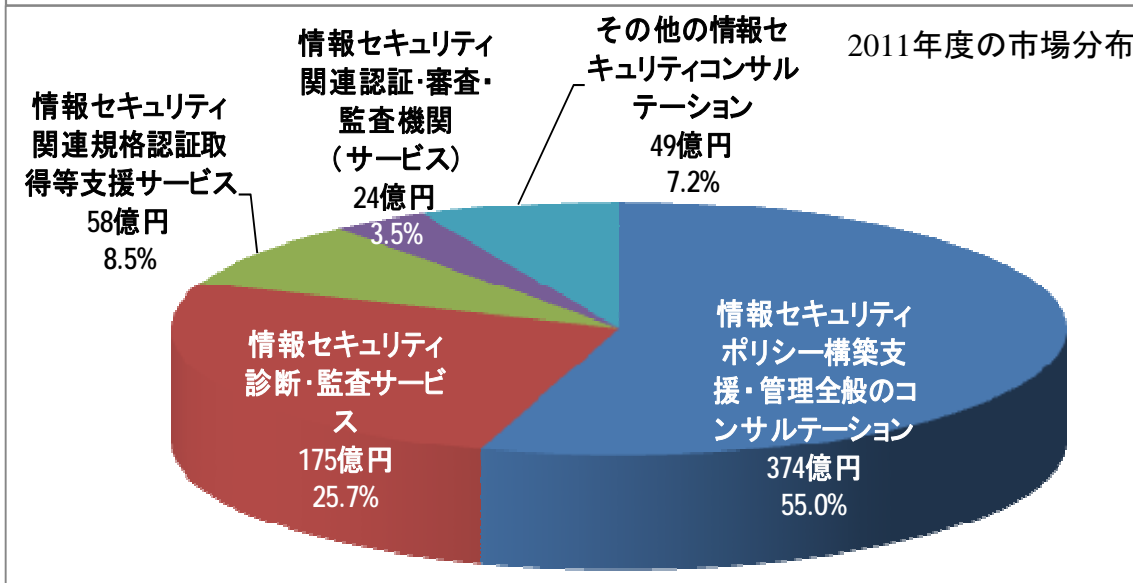


- システム構築サービスが最大セグメント。
- セキュアシステム目的の構築需要は縮小傾向だったが、セキュリティ対策抜本見直しの動きにより2011年以降回復基調に。
- コンサルテーションも同様に回復基調に。ただし、認証取得は2012年度まで縮小傾向が続く。
- 運用・管理サービスは堅調な推移。2012年度には1000億円に達したか？
- 全体としては、2010年度を底に回復基調が鮮明になり、拡大に向かうと期待される。
- 背景に、サイバー脅威の深刻化とシステム刷新に対応したシステム全体のセキュリティアーキテクチャやマネジメントの見直しがあり、景気・業績回復が後押しする構造。

# 情報セキュリティコンサルテーション

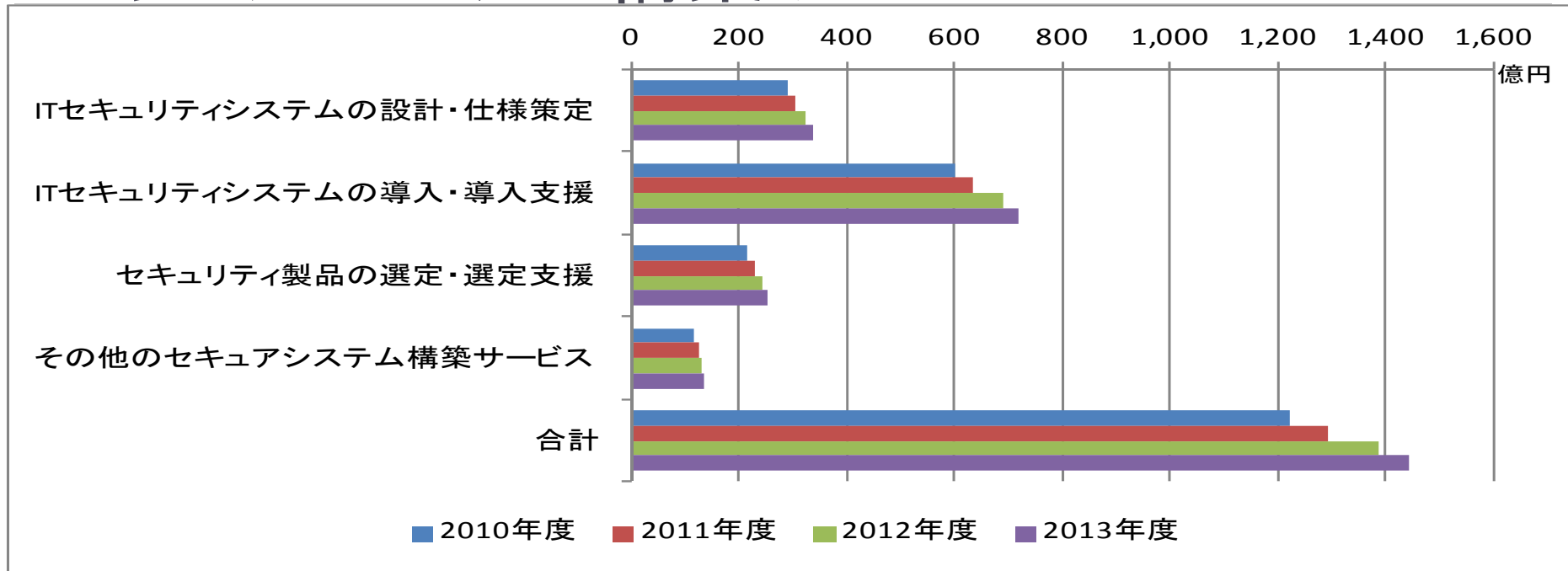


- ISMS、PM等認証取得コンサルが大幅な落込み。つれて審査機関のサービスも激減
- 特に2011年が顕著。2012年も縮小が続き、2013年度に下げ止まるか
- 2010～2013年度平均で各8～10%の減。

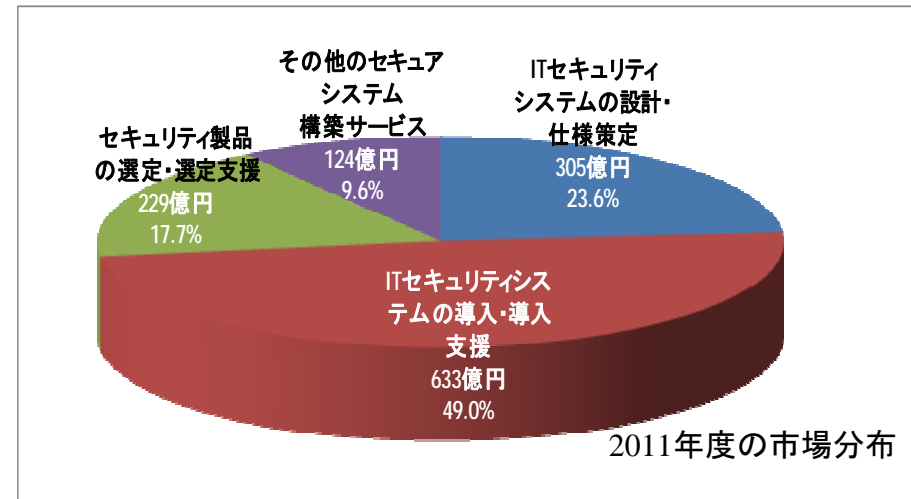


- ポリシー構築・セキュリティ全般コンサルは2010年度を底に回復へ。
- 標的型攻撃の深刻化、クラウド、モバイル等システム構成の変化でポリシー再構築ニーズは高まるか。
- 診断・監査サービスも同様の理由+Web脆弱性対策で下げ止まり→回復のシナリオへ。

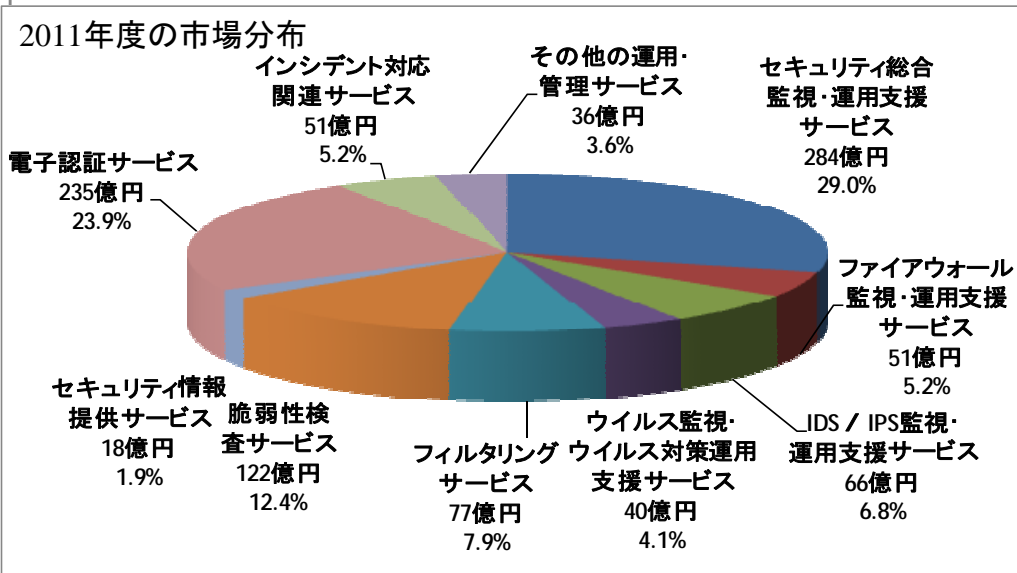
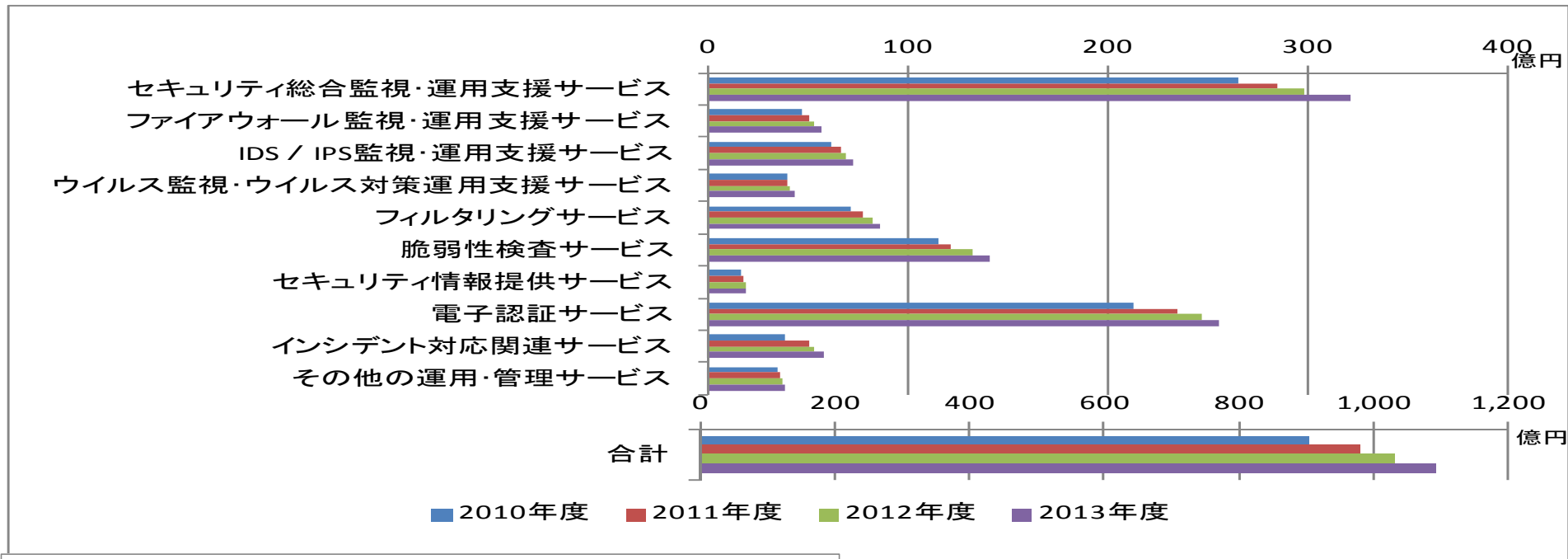
# セキュアシステム構築サービス



- 全体で1500億円近い大市場だった(2008)ものが、1200億円強の規模まで縮小、2013年度にかけて回復へ。2013年度は1,444億円の予想。
- セキュリティ目的でのSIが減少し、SIの中でセキュリティも組込むことが当然となって来たため。ただし、サイバー脅威対策で再びセキュリティSI需要も。
- モバイル、クラウド等に対応したシステムの見直し、セキュリティの見直し需要も追い風。

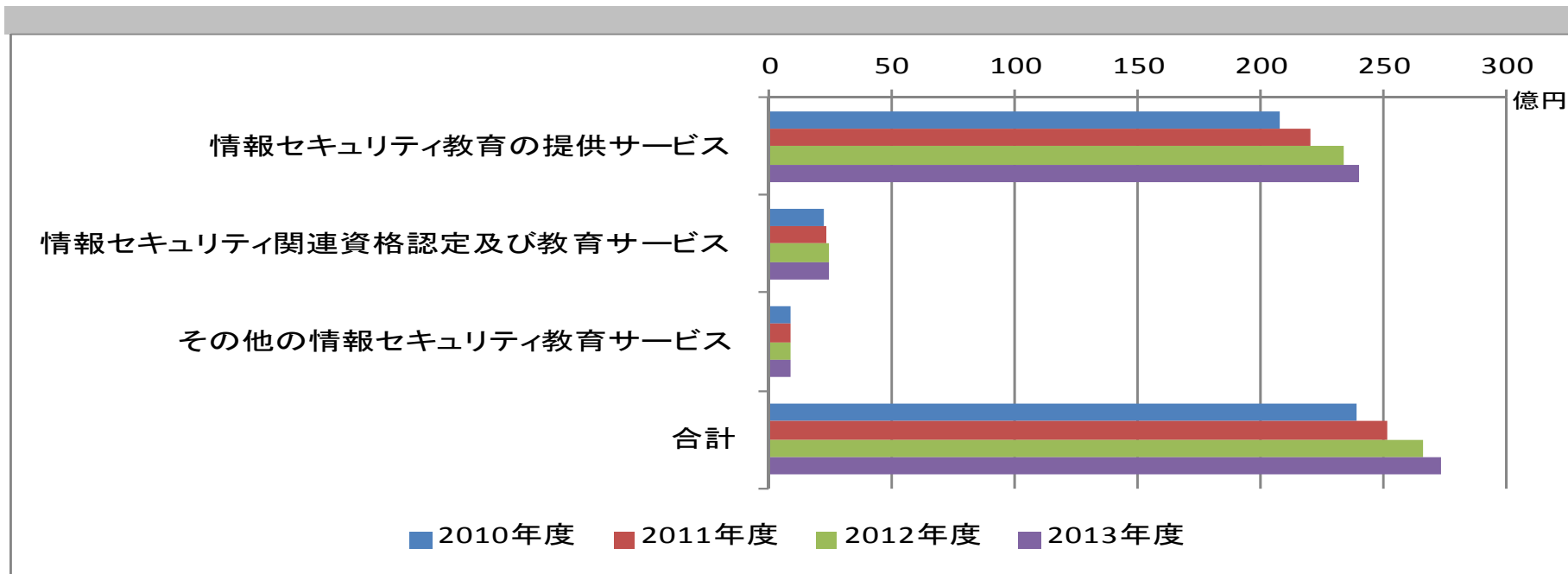


# セキュリティ運用・管理サービス

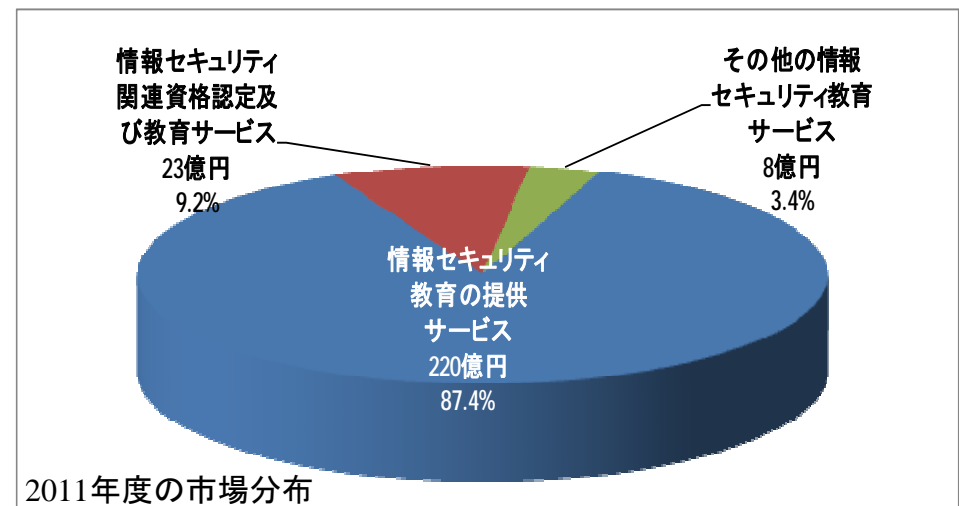


- 全体で1000億円を超える大市場に成長した。
- マネージドサービスが54%、プロフェッショナルサービスが23%、電子認証が24%の構成比。
- マネージドサービスはアウトソース志向、プロフェッショナルサービスはインシデント対応で伸びていると見られる。
- Security as a Serviceが立ち上がりつつある。
- インシデント対応は2010-2013平均で10%の伸びと需要増が大きい。2011年度の事案が急増したため。

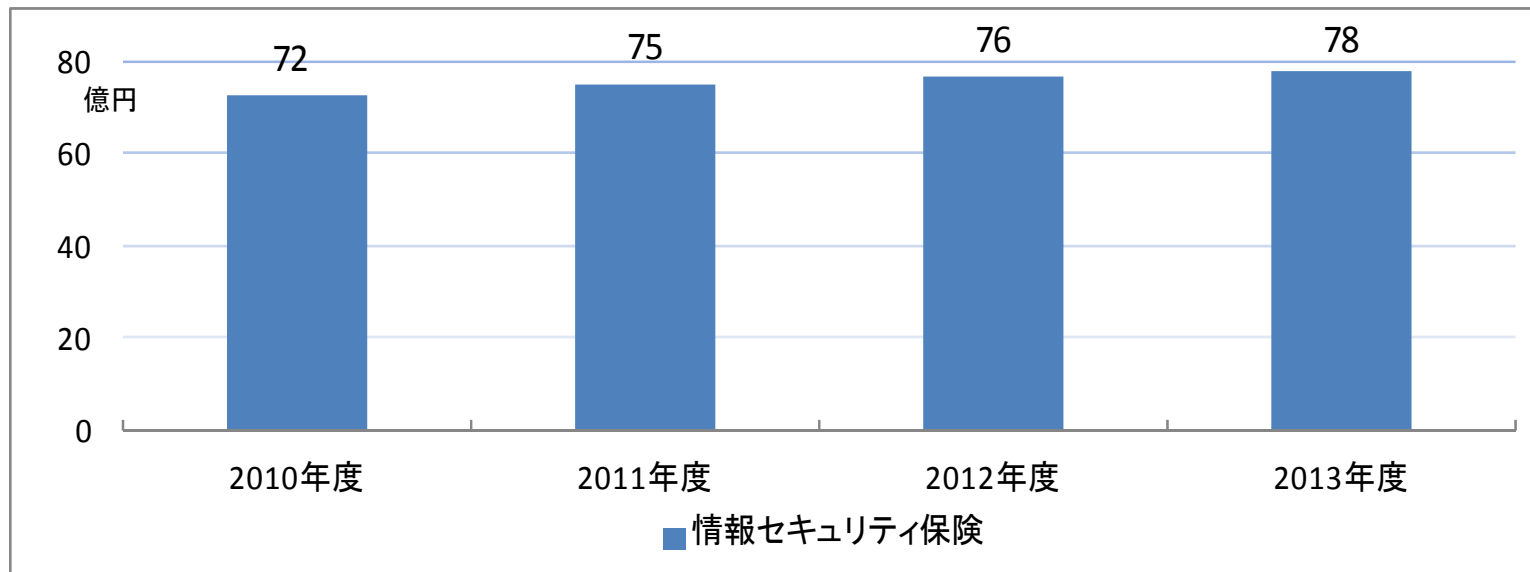
# 情報セキュリティ教育



- 景気低迷に伴って停滞感があったが、2010年度を底に回復基調となった。
- 情報漏洩対策、標的型攻撃対策、モバイルデバイス・BYOD対策等で社員教育の需要が再び拡大方向に。
- 政府が情報セキュリティ人材育成に注力したこと追い風になるか。
- 経済の回復に伴う需要拡大にも期待。



# 情報セキュリティ保険



- 情報セキュリティ保険は、ニーズに対して一巡浸透した後は継続需要が中心となるため、ほぼ70億円台前半で市場規模が安定した推移をしていた。
- 2011年度に大規模攻撃被害が相次いだこと、震災経験等から保険の見直しの動きが顕在化、3.6%拡大して75億円規模となった。
- 以降は緩やかな拡大基調で推移するものと想定される。

## ・2010～2012年におけるネットワーク脅威の動向

- 標的型攻撃
- スマートデバイスの攻撃・脅威
- ウェブサイトを狙った攻撃
- クライアントソフトの脆弱性を衝く攻撃

## ・Security as a Service

## ・スマートデバイスのセキュリティ事情

# セキュリティ市場調査WG メンバーリスト

## ワーキンググループリーダー

2013年5月25日現在

勝見 勉

株式会社情報経済研究所

## ワーキンググループメンバ(調査・推計参加者)

菅野 泰彦

アルプスシステムインテグレーション株式会社

清水 聡史

株式会社イーセクター

浜 義晃

株式会社イーセクター

兵藤 直嗣

株式会社イーセクター

土屋 日路親

イーロックジャパン株式会社

福岡 かよ子

株式会社インテック

木城 武康

株式会社日立システムズ

熊谷 裕吾

三井物産セキュアディレクション株式会社

塩見 友規

三井物産セキュアディレクション株式会社

蜂巢 悌史

株式会社km2y



**JNSA**



NPO 日本ネットワークセキュリティ協会  
Japan Network Security Association

**JNSA**

2013年6月7日

JNSA2012年度活動報告会

<http://www.jnsa.org>  
[sec@jnsa.org](mailto:sec@jnsa.org)

Thanks!

(独)情報処理推進機構 主任研究員  
勝見 勉  
[t-katsu@ipa.go.jp](mailto:t-katsu@ipa.go.jp)

株式会社 情報経済研究所  
代表取締役 勝見 勉  
[info-economy@xvg.biglobe.ne.jp](mailto:info-economy@xvg.biglobe.ne.jp)